

(土曜日——午前の第一の部)

メッセージ 4

**第四の要因：キリストのからだの中にある、  
また諸地方召会の中にある権威**

聖書：ローマ 9:23. マタイ 28:18. エペソ 1:22-23.

ヘブル 4:16. 啓 4:2. 22:1-2

**I. 神は最高の権威です。彼はすべての権威を持っています——ローマ9:21-22：**

- A. 神の権威は、実は神ご自身です。権威は神ご自身の存在から出てきます——啓 22:1。
- B. すべての権威は、霊的なものであれ、地位上のものであれ、行政上のものであれ、神から出てきます——Ⅱコリント 10:8. 13:10. ヨハネ 19:10-11. 創 9:6。
- C. 権威を認識することは、内側の啓示であって、外側の教えではありません——使徒 22:6-16。
- D. 主イエスは権威の下にある人でした。彼はご自身をむなしくし、御父のみこころを行ない、死にまでも、しかも十字架の死に至るまでも従順でした——マタイ 8:9. ヨハネ 4:34. 6:38. ピリピ 2:7-8。
- E. 主は彼の神性において、神のひとり子として、すべてに対する権威を持っていました。しかし、彼の復活の後、彼の人性において、人の子としての、また天の王国の王としての彼に、天においても地においても、いっさいの権威が与えられました——マタイ 28:18。
- F. 神が引き上げたイエスは、今や地上の諸王の支配者として、権力を持つすべての者たちに対する支配者です。彼は神聖な統治における支配者の長であり、神の永遠のご計画を成就します——使徒 2:23, 36. 5:31. 啓 1:5。
- G. キリストの昇天において、神はキリストを、召会であるからだの唯一のかしらとし、宇宙のかしらへと就任させました。全宇宙のかしらはイエスです——コロサイ 1:18. 使徒 2:36. エペソ 1:22-23。

**II. キリストは団体的に召会であるからだのかしらであり、また個人的にすべての信者のかしらでもあります。彼は直接わたしたち一人一人のかしらであり、そしてわたしたちはみな彼の権威の下にあります——コロサイ1:18. Iコリント11:3：**

- A. キリストがかしらであることは、彼がからだにおいてすべての権威を持っているということです——ローマ 9:21, 23. マタイ 28:18：
  - 1. からだは自由に行動することはできず、かしらの指示でのみ行動することができます。
  - 2. からだとからだのすべての肢体とに指示を与える権威は、かしらにあります。
- B. わたしたちがかしらの権威の下にいるかどうか、わたしたちがからだの命を知っているかどうかを決定します——Iコリント 11:3. エペソ 4:15-16. コロサイ 1:18. 3:4：
  - 1. からだは、ただ一つのかしらを持つことができるだけであり、一つのかしらに服従

することができます—コロサイ 1:18。

2. キリストだけが唯一のかしらです。わたしたちは彼に服従しなければならず、神が高く上げたキリストの唯一の頭首権を尊び、証ししなければなりません—エペソ 1:22-23. マタイ 23:8-12。

C. わたしたちはからだの中で生きるために、からだの中にある権威を承認する必要があります—エペソ 1:22-23. コロサイ 1:18. 2:19 :

1. からだの中にある権威に関して、何よりもまず、かしの権威がからだ全体の至る所に流れる必要があります—エペソ 5:23-24 :
  - a. わたしたちは直接かしに服従するとき、からだをも顧慮します。わたしたちは、からだを顧慮することなしに、かしの権威に服従していると言うことはできません。
  - b. 主だけがわたしたちのかしであり、主だけが彼のからだの肢体の行動を指示する権威を持っています。
2. からだの中で、長老と使徒は代理権威であり、かしの権威を遂行します—使徒 14:23. I テモテ 5:17 前半. I コリント 12:28 :
  - a. 一方で、からだのすべての肢体は、直接かしに服従します—エペソ 5:24 前半。
  - b. 他方で、肢体はかしの代理人に服従します—ヘブル 13:17。

III. 召会の秩序は、召会の中にある権威、すなわちキリストの唯一の頭首権を尊ぶことから出てきます—コロサイ 1:18. ピリピ 1:1 :

- A. 召会の中には、人の組織はなく、霊的な秩序があります—ピリピ 1:1. I コリント 14:40. 11:34 後半。
- B. 召会のかしらは、主なるキリストであり、召会の中にある権威は、キリストの頭首権です—マタイ 28:18. コロサイ 1:18。
- C. 召会の中には秩序がなければなりません、この秩序はキリストの頭首権から出てきます—エペソ 1:22-23。
- D. わたしたちはキリストの唯一の頭首権に服従することによってのみ、召会生活を真に実行することができます—コロサイ 1:18. 2:19 :
  1. 召会の中にある秩序は、キリストの頭首権がわたしたちによって実際的に現されることから出てきます—I コリント 11:3, 16. エペソ 1:22。
  2. もしわたしたちが、キリストの頭首権が実際的に現されることからくる召会における霊的な秩序を持っていないなら、真の召会生活を実行することはできません—I コリント 11:3. 14:40。

IV. 召会において神の権威は、使徒たちと長老たちによって表現され、代行されます—I コリント 12:28. I ペテロ 5:1-3 :

- A. 神は長老たちと使徒たちを任命して、召会における権威とさせました—I コリント 12:28. 使徒 14:23。
- B. 使徒たちと長老たちは自分自身では何の権威も持っていません。彼らはかしの権威の下に立つときはじめて、権威を持ちます。彼らはかしの権威を代行することによ

って、召会において権威を行使します。

C. 神は召会の中にあるご自身の権威を現すために、それぞれの地方召会において長老たちを任命して、ご自身の権威を代行させます——使徒 14:23. テトス 1:5 :

1. 宇宙召会には使徒職という職務があります。それは使徒たちに、地方召会の行政のために長老たちを任命する地位と権利を与えます——I コリント 12:28. 使徒 14:23. テトス 1:5。
2. 使徒たちが長老たちを任命することにおいて、聖霊は使徒たちと一でした。そして使徒たちは、聖霊の導きにしがたってこのことを行ないました——使徒 20:28。
3. 長老たちの権威は、神の権威を代行し、表現するためです——I ペテロ 5:1-3。
4. 監督としての長老たちの主要な責任は、支配することではなく、牧養することです。すなわち、すべてを含む優しい顧みを、群れである神の召会に与えることです——使徒 20:28。
5. 長老職に関する聖書の原則は、複数であることです。長老が複数であることによって、固定した導く者はいなくなります。そして、キリストの唯一の頭首権は尊重され、守られ、尊ばれます——使徒 14:23. テトス 1:5。
6. わたしたちは、召会生活の中でわたしたちを導く者たちに従い、彼らに服従する必要があります (ヘブル 13:17)。もしわたしたちが神の任命した代理権威に服従することができないなら、神に服従することもできません。

V. 今日の召会生活には神聖な統治があり、この統治は神と小羊の御座から来ます——啓 22:1-2 :

- A. 召会の中にある神聖な権威は、神がご自身を命として、命の供給として、すべてに十分な恵みとしてわたしたちの中へと分与するためです。わたしたちは御座に服従することによってのみ、彼の流れる恵みのすべてに十分な源にあずかることができます——II コリント 13:14. 啓 22:1-2, 16 前半。
- B. ヘブル第 4 章 16 節の恵みの御座は、啓示録第 4 章の権威の御座です。啓示録第 4 章の権威の御座は、啓示録第 22 章 1 節から 2 節では神と小羊の御座となり、そこから「水晶のように輝く命の水の川」が流れています (1 節) :
  1. 御座は権威の御座、頭首権の御座ですが、その御座から命の水の川が流れています——啓 22:1。
  2. 御座が神の御座であるだけでなく、神と小羊の御座であるという事実が意味するのは、神が小羊の中で恵みとして流れ出て、わたしたちの享受となるということです :
    - a. わたしたちは決して恵みから権威を分離すべきではなく、あるいは権威から恵みを分離すべきではありません。恵みと権威は一です——ヘブル 4:16. 啓 22:1。
    - b. わたしたちはこの御座に来るときはいつでも、神の恵みが川のようにわたしたちの中へと流れ込むことを感じます——ヘブル 4:16. 啓 22:1-2。
  3. 今日、主イエスは単に権威をもって王として支配しているだけではありません。彼は恵みとしての彼の命の流れを通して、召会の中で、諸召会の間で、すべての召会の上で、王として支配しています——啓 4:2-3. 5:6. 7:9. 22:1-2。

- C. 神と小羊の御座（権威）は、神聖な行政の源であるだけではありません。それは神聖な交わりの源でもあります——啓 22:1-2 :
1. 権威と交わりは、からだの中の二つの路線です—— I コリント 11:3. 12:12-13, 18. 1:9. 10:16-17。
  2. 御座は権威の事柄ですが、流れる川は交わりの事柄であって、大通りによって表徴されています。その大通りは、「純金であって、透明なガラスのよう」です——啓 21:21 :
    - a. 御座は神聖な権威を表します。そして御座から命の水の川が流れて、わたしたちに神聖な交わりを享受させます——啓 22:1-2。
    - b. この交わりの中に神聖な権威があります。なぜなら、神のエコノミーにおいて権威は常に交わりと同行するからです—— II コリント 10:8. 13:10, 14。
  3. 実行上、地方召会を建造するために、わたしたちが必要とするのは、神と小羊の御座と、水晶のように輝き、御座から流れ出て、大通りを流れる命の水です——啓 22:1-2。